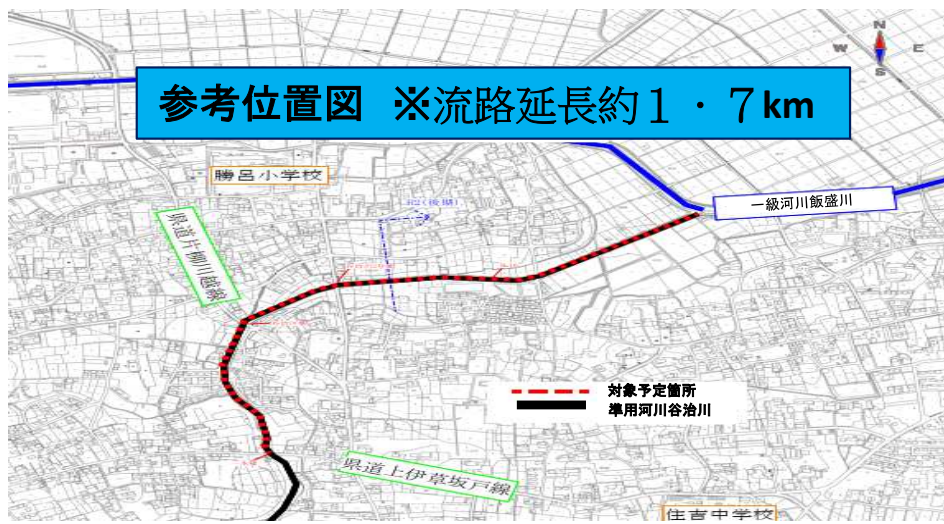


入間川流域における 流域治水の取組について

『荒川水系谷治川緊急浚渫推進事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 (1) 洪水氾濫対策 ② 河道掘削



担当部署	坂戸市 都市整備部 道路河川課
連絡先	049-283-1331
関係機関	—

取組概要

- ・ 箇所: 準用河川谷治川 / 坂戸市大字石井、塚越地内
 - ・ 実施期間: 令和2年度から令和5年度
 - ・ 実施事業量: 約2,300m³ (令和4年度まで)
- 坂戸市が管理する荒川水系谷治川の堆積土砂掘削を行うもの。堆積土砂の掘削と洗掘、堆積している箇所の敷き均しを行い、当初計画における河道断面を確保する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・ 掘削した土砂については、国の築堤工事等へ活用。

取組による効果

- ・ 洪水時、水位を低下させ、安全に流す。
- ・ 洪水時、周辺地域の浸水被害の防止。

活用可能な制度等

- ・ 緊急浚渫推進事業債(総務省)



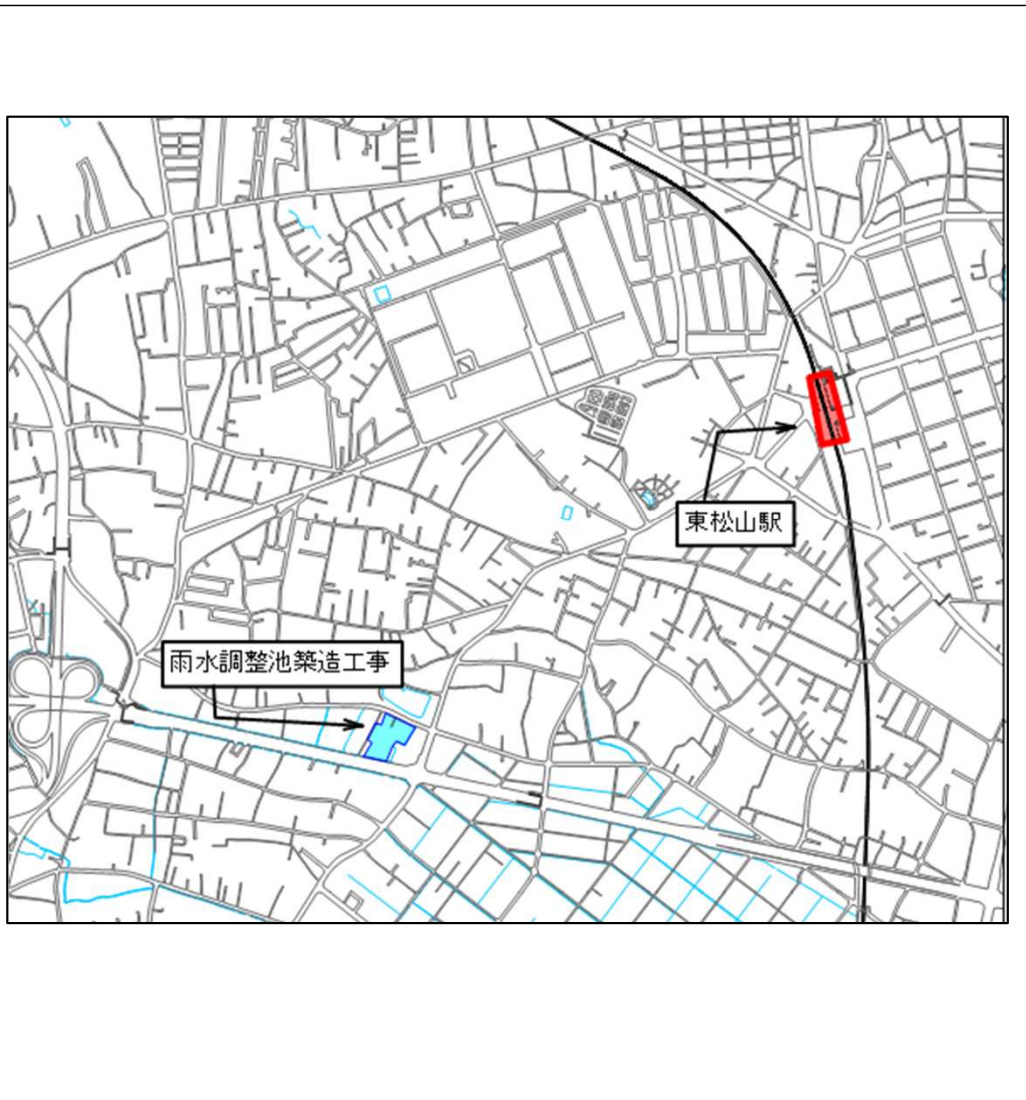
実施前



実施後

『雨水調整池築造工事事業』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (2) 内水氾濫対策 ① 雨水貯留施設の整備



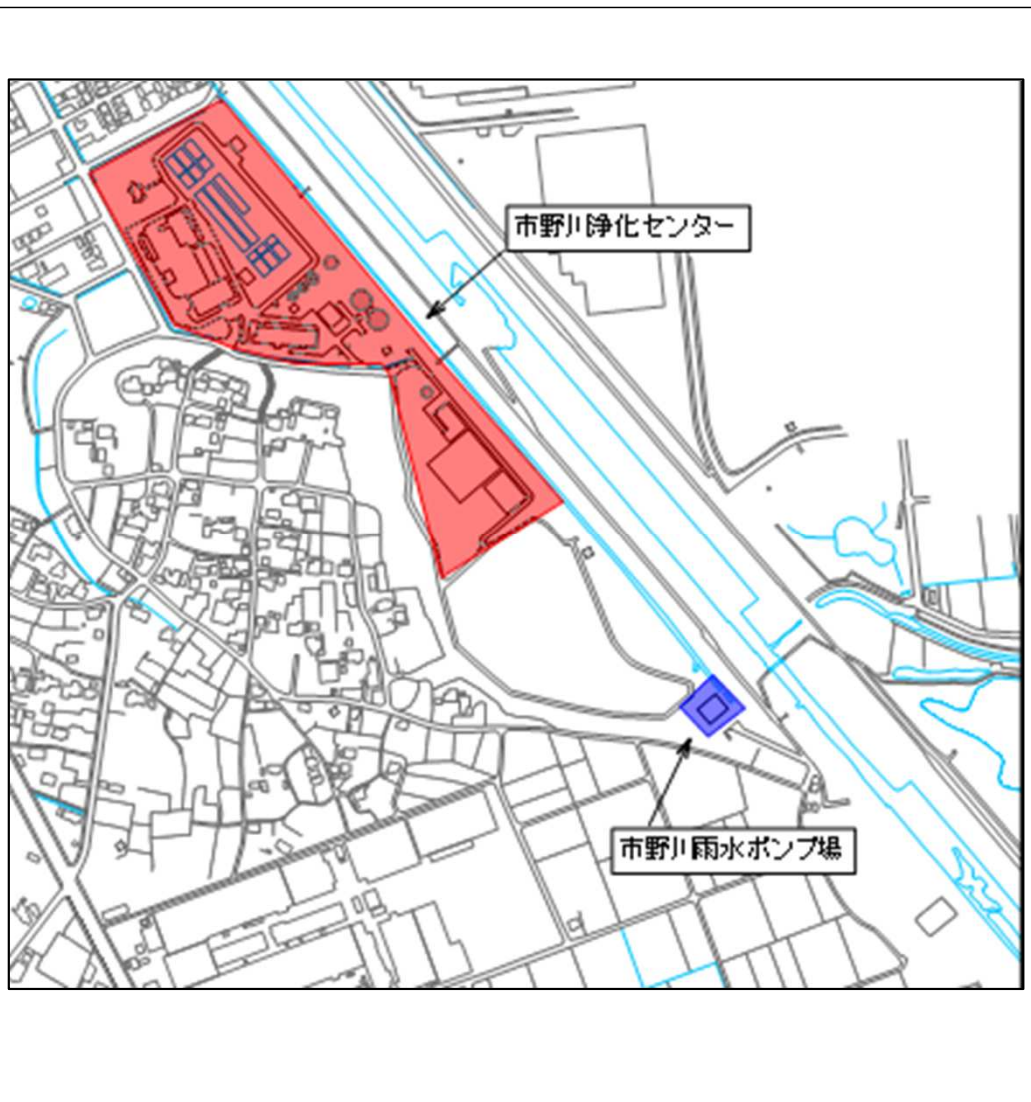
担当部署	東松山市 建設部下水道施設課
連絡先	0493-22-1123
関係機関	—
取組概要	内水被害を軽減するため、雨水調整池を築造した。
取組内容の工夫点・課題・留意点	—
取組による効果	内水被害の軽減につながることが期待される。
活用可能な制度等	特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

東松山市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、飯能市、狭山市、鴻巣市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、和光市、北本市、富士見市、ふじみ野市、伊奈町

『東松山市市野川雨水ポンプ場築造事業』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (2) 内水氾濫対策 ② 排水施設の整備



担当部署	東松山市 建設部下水道施設課
連絡先	0493-22-1123
関係機関	—
取組概要	東松山市東部土地区画整理事業区域内の内水被害を軽減するため、東松山市市野川雨水ポンプ場を築造した。
取組内容の工夫点・課題・留意点	—
取組による効果	東松山市東部土地区画整理事業区域内の内水浸水の被害の軽減に寄与した。
活用可能な制度等	特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

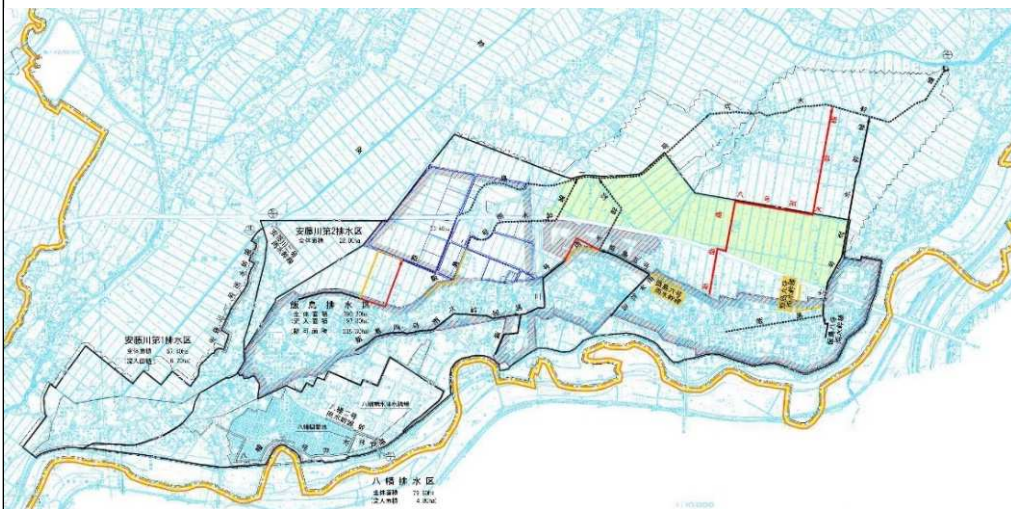
東松山市、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、川島町、埼玉県、水資源機構

■ 対策事例 【荒川水系(埼玉ブロック)流域治水プロジェクト:川島町】

『飯島雨水幹線整備事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(2) 内水氾濫対策: 下水道施設(都市浸水対策の強化) ② 排水施設の整備※通常の雨水排水管整備を含む



担当部署

川島町 上下水道課

連絡先

049-297-1818

関係機関

—

取組概要

川島町の約555haを全体計画区域とし、計画区域内の雨水排除を目的として整備を進めている。

取組内容の工夫点・課題・留意点

既存の整備済み水路を活用することにより、期間と費用の縮減を図っている。

取組による効果

雨水幹線の整備が進むことにより、排水能力の向上を図っている。

活用可能な制度等

・社会資本整備総合交付金(防災・安全)

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

川島町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、鴻巣市、深谷市、上尾市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、埼玉県、水資源機構

『流域貯留浸透事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (5) 流域の雨水貯留機能の向上 ②校庭(公園等)貯留施設の整備

中央小学校(埼玉県川越市中原町1-2-5)ほか23校 計24校



(参考写真 野田中学校)

担当部署	川越市 教育財務課
連絡先	049-224-6083
関係機関	川越市 小中学校
取組概要	小中学校の校庭を流域貯留浸透施設として維持管理を行う。
取組内容の工夫点・課題・留意点	校庭施設の維持管理(費用など)について課題がある。
取組による効果	敷地内の降雨を一時的に貯留、または浸透させることにより雨水の流出を抑制し、河川に対する洪水負担の軽減する効果がある。
活用可能な制度等	特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

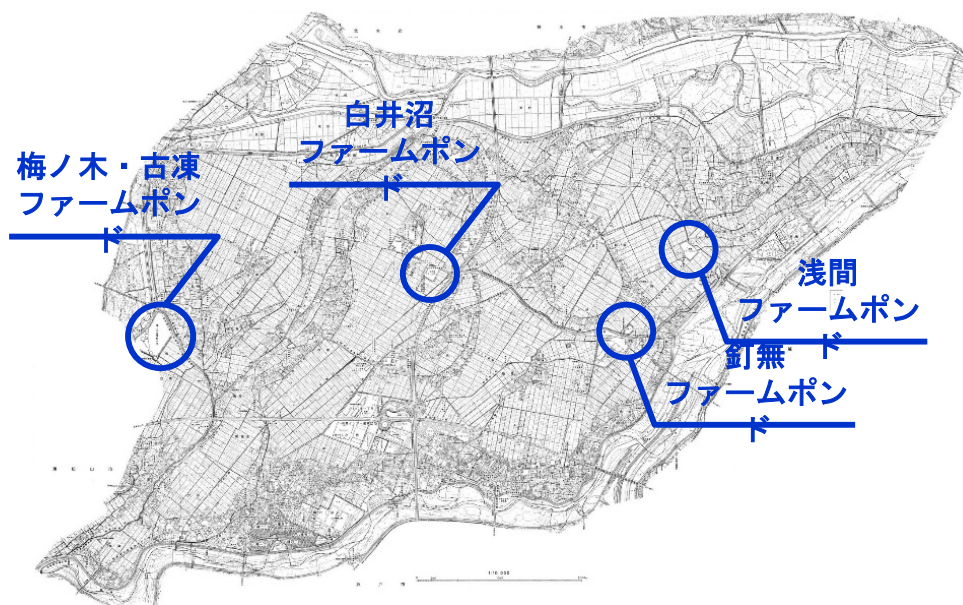
川越市、さいたま市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、狭山市、鴻巣市、上尾市、越谷市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、久喜市、北本市、富士見市、伊奈町、滑川町、埼玉県

■ 対策事例 【荒川水系(埼玉ブロック)流域治水プロジェクト:川島町】

『洪水予防対策のための水位調節等の連携・協力に関する覚書』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上 ③ ため池やクリークの治水利用



担当部署 川島町 まち整備課

連絡先 049-299-1761

関係機関 川島町土地改良区

取組概要

流出抑制の取組として、台風等の大雨が予想される場合は事前に土地改良区と調整を行い、取水樋管を早い段階で閉鎖して河川から町内に入る水をなくす。

また、ため池の水を事前に減らすことや、水路に設置されている堰を撤去することにより町内にある水の総量を減らし、排水樋管閉鎖後も貯められる水の量を増やす。(令和3年3月覚書締結)

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・ 用水の管理者である土地改良区と常に情報の交換を行い、減らすことのできる水の量を事前に調整しておく。
- ・ 用水を使用している時期だと、あまり水を減らすことができない。

取組による効果

- ・ 令和元年東日本台風においては、外水によるものと排水機場が停止した影響以外の場所で床上・床下浸水なし。

活用可能な制度等

特になし

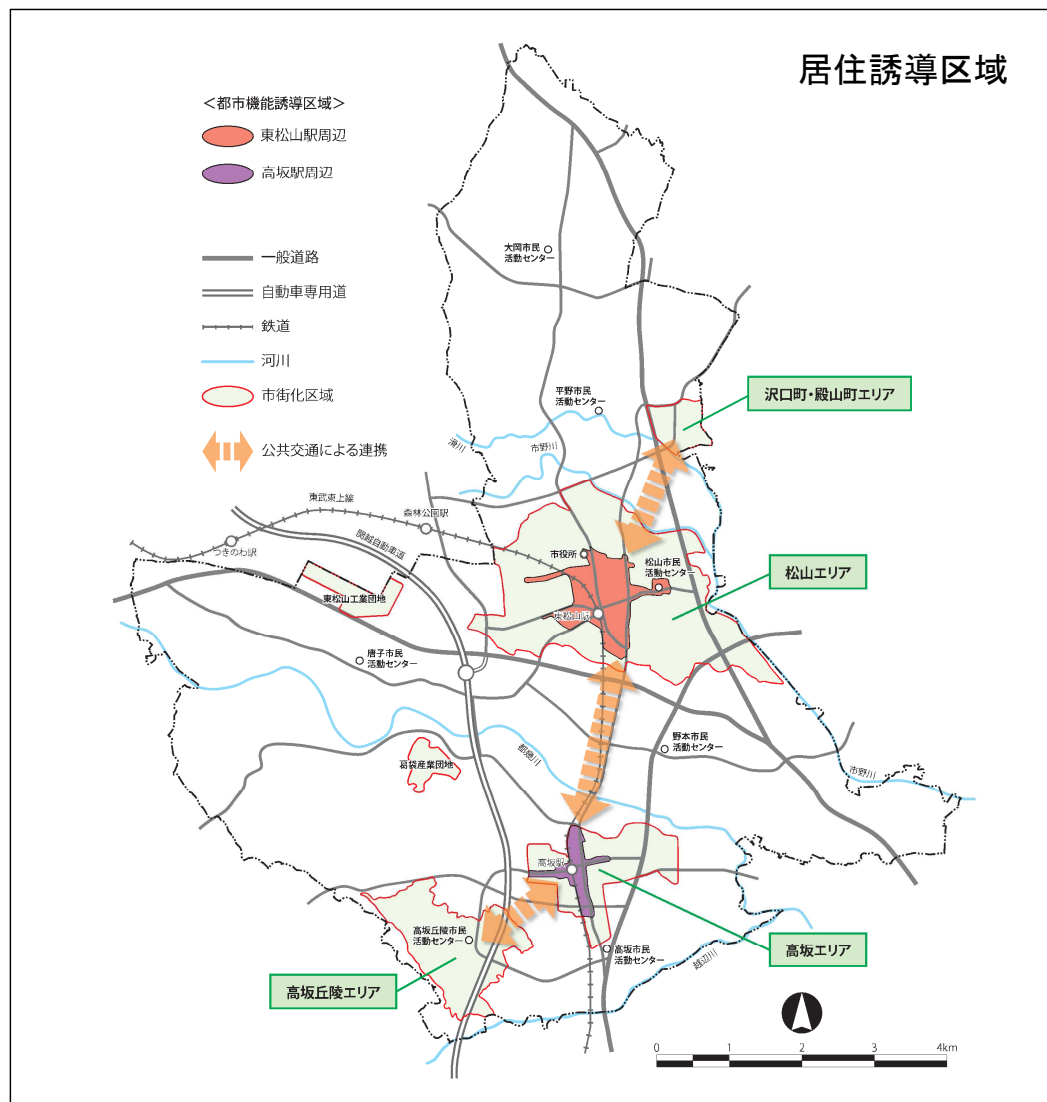
荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

川島町、東松山市

『東松山市立地適正化計画の策定』

2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ②災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定



担当部署	東松山市 都市計画部 都市計画課
連絡先	0493-21-1425
関係機関	—
取組概要	災害ハザード区域を考慮した誘導区域の設定。
取組内容の工夫点・課題・留意点	浸水想定区域については、降雨や河川水位の観測体制の整備により事前の避難が可能である点を考慮し、浸水被害の防止・軽減に向けた各種取り組みを実施することを前提に誘導区域に含める。 家屋等氾濫想定区域については、人的被害の可能性が高い点を考慮し、誘導区域から除外する。
取組による効果	生活に必要な各種施設や住まいの立地を適正な方向に誘導する。
活用可能な制度等	・コンパクトシティ形成支援事業ほか。

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

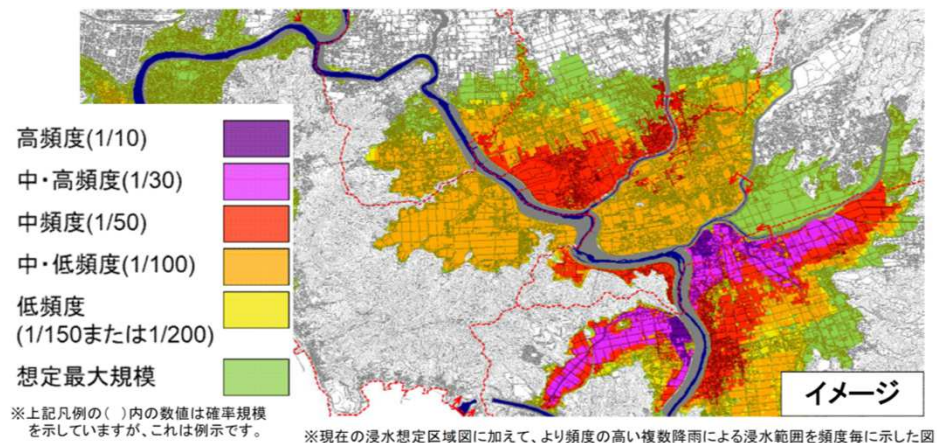
東松山市、秩父市、深谷市、蕨市、朝霞市、志木市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、小川町、鳩山町、寄居町

『中高頻度の水害リスク情報図作成・提供』

2.被害対象を減少させるための対策

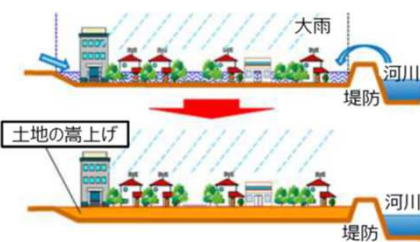
(2)まちづくりでの活用を視野にした土地の水害リスク情報の充実 ①開発の規制や居住の誘導に有効な多段的なリスク情報の充実

■ 実施のイメージ

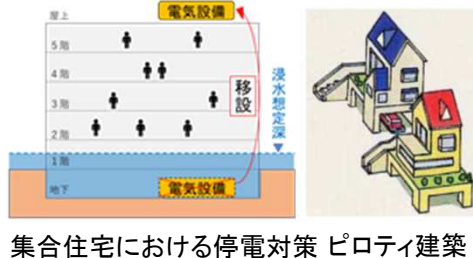


■ 活用例

※まちづくりの工夫の例



※住まい方の工夫の例



※上記対策はイメージであり個別具体の箇所での実施を示しているものではありません。

担当部署 埼玉県 県土整備部 河川砂防課

連絡先 048-830-5162

関係機関 都市整備部 都市計画課 など

取組概要

より水害リスクの低い地域への居住・都市機能の誘導や、水害リスクが高いエリアにおけるまちづくり・住まい方の工夫を促すために、中高頻度の水害リスク情報図を作成し、市町村に提供する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

まちづくり部局と連携をしながら取組を進める必要がある。

取組による効果

まちづくりや住まい方の工夫に活用することにより、被害の軽減が図られる。

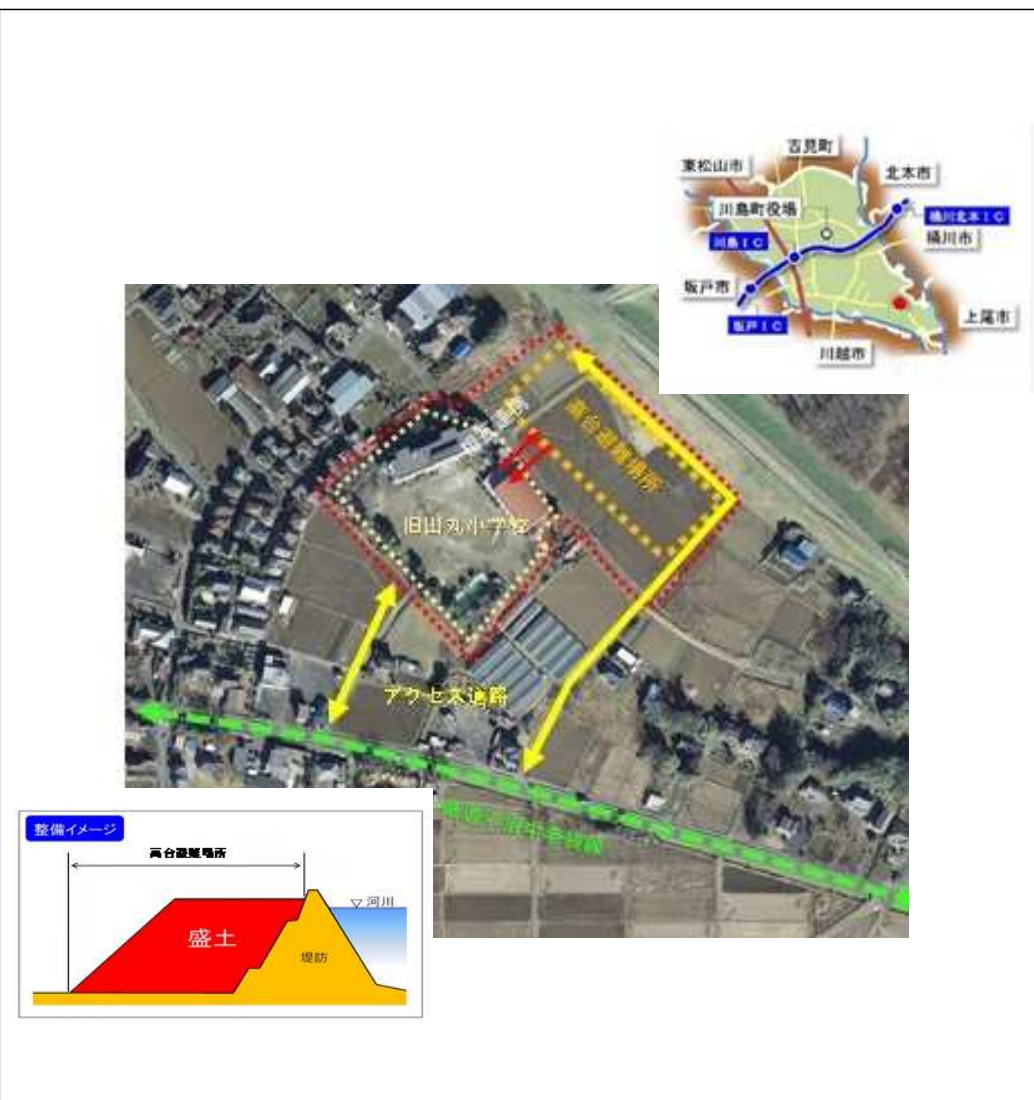
活用可能な制度等

社会資本整備総合交付金(河川)事業(国交省)

『川島町高台避難場所整備事業』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1)避難体制等の強化 ①避難施設等の整備(避難路、避難所等)



担当部署	川島町 総務課・まち整備課
連絡先	049-299-1753・1761
関係機関	荒川上流河川事務所

取組概要
 川島町では、令和元年東日本台風(台風第19号)を教訓に、水防体制及び川島町地域防災計画の改定を行いました。
 その中で、大規模な水害時には、町内全域が浸水することから、町外への広域避難を推進しています。
 しかし、町外へ広域避難ができなかった方が、一時的に、緊急的に避難する場所として、川島町では、高台避場所の整備を行います。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・堤防に隣接または近接し、整備可能な一団の土地を確保。
- ・容易に避難できる経路に隣接または近接した土地。
- ・緊急時避難場所(指定避難所)との相互連携可能な距離に位置している。

取組による効果

- ・町外に避難できなかった方が、緊急的に一時避難する場所として活用する。

活用可能な制度等

- ・社会資本整備総合交付金(都市防災推進事業費補助)

『まるごとまちごとハザードマップ事業』

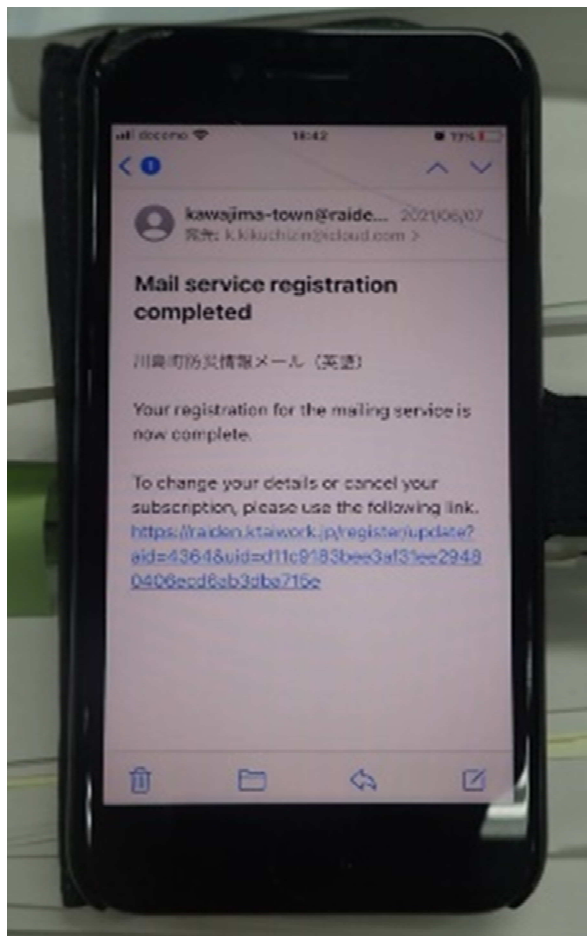
- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実
 (1)避難体制等の強化 ②その他の取り組み



担当部署	川島町 総務課 防災対策室
連絡先	049-299-1753
関係機関	—
取組概要	<p>・町民に対する水害リスクの周知 公共施設や各小中学校、商業施設やコンビニエンスストアなどの民間施設に対して、まるごとまちごとハザードマップの看板設置を行った。 (町内設置箇所合計66か所)</p>
取組内容の工夫点・課題・留意点	<p>公共施設では利用が限られることから、コンビニなどの民間施設に設置することにより、より多くの人の目に留まるようにした。</p>
取組による効果	<p>川島町は、水害時に町内全域が浸水するおそれがあり、まるごとまちごとハザードマップを通して、身近な水害の危険性を知り、早期の避難行動に繋がるものと考えている。</p>
活用可能な制度等	<p>特になし</p>

『かわべえメール多言語化事業』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実
 (1)避難体制等の強化 ②その他の取り組み



担当部署	川島町 総務課 防災対策室
連絡先	049-299-1753
関係機関	—
取組概要	<p>・外国人への情報伝達方法の改善 外国籍の方に対して、適切に防災情報が伝達できるように、かわべえメールの多言語化(英語、中国語、韓国語、ベトナム語)を実施した。</p>
取組内容の工夫点・課題・留意点	<p>外国籍の方へのかわべえメールの登録促進を行う必要があります。</p>
取組による効果	<p>川島町は水害時に町内全域が浸水するおそれがあり、特に、外国籍の方に対する避難情報の伝達方法が課題であった。 多言語化したかわべえメールを配信することにより、外国籍の方でも適切かつ迅速に防災情報を取得できるようになったと考えます。</p>
活用可能な制度等	特になし

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等

川島町

『町内小中学生を対象とした防災学習』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実
- (1)避難体制等の強化 ②その他の取り組み



担当部署	川島町 総務課 防災対策室
連絡先	049-299-1753
関係機関	—

取組概要
 ・町内の小学4年生及び中学2年生を対象とした、防災学習を実施し防災意識の向上を図った。

取組内容の工夫点・課題・留意点
 クイズ形式を取り入れて実施し、参加型の授業の実施をした。
 町の備蓄品や備品を紹介し、町の備えと個人での必要な備えを学んでもらった

取組による効果
 小学生や中学生の若い世代から、本町の水害に対する危険性を学ぶことで防災意識の向上を図れた。参加した児童・生徒にアンケートを行った結果、8割以上の生徒が防災学習の内容について、家族で振り返りを行っており、家庭内での防災意識の向上も図れた。

活用可能な制度等
 特になし